国立国語研究所学術情報リポジトリ

『国立国語研究所論集』(NINJAL Research Papers)の刊行にあたって

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2015-10-30
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 影山, 太郎, KAGEYAMA, Taro
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00000472

『国立国語研究所論集』（*NINJAL Research Papers*）の刊行にあたって

国立国語研究所（National Institute for Japanese Language and Linguistics；略称 NINJAL）が大学共同利用機関法人 人間文化研究機構に加わってから 1 年半が過ぎました。日本語学・言語学・日本語教育研究の国際的研究拠点として，国内外の専門家と連携して多彩な共同研究プロジェクトを広範に展開するとともに，学術的成果を一般社会に広く公開・普及するための啓蒙活動にも力を注いでいます。

個々の研究者が個人の名前で出版する論文や著書とは別に，研究所全体としては 3 種類の刊行物によって研究成果の公開・普及を図っています。ひとつは，2010 年 5 月からオンラインで刊行を開始した『国語研プロジェクトレビュー』（*NINJAL Project Review*）で，これは国語研のウェブサイト（http://www.ninjal.ac.jp/）から自由にダウンロードしていただけます。二つ目は，共同研究の経過状況や収集資料をまとめた『国立国語研究所共同研究報告』です。これは,『プロジェクトレビュー』や他の論文等に掲載できなかった補足的な研究資料等を記録するためのもので，学術的にも社会的にも用途が限られるため，内部報告書として位置づけられます。三つ目が本誌『国立国語研究所論集』で，これは本研究所で研究に従事する専任・客員・非常勤・外来の研究者および共同研究プロジェクトに参画している諸大学の教員から投稿された未公刊のオリジナルな論文を，ピアレビューを経て掲載するものです。これから，毎年 5 月と 11 月の 2 回，オンラインと紙印刷の両形態で発信していく予定です。

前述の『国語研プロジェクトレビュー』が共同研究のプロジェクトチームとしての研究活動の総体を展望することによって国語研全体の動向を知っていただくことを目指しているのに対し，本誌は個々の研究者が行っている個別研究の成果（共同研究を源とするものも含む）を発信することを意図しています。この機能分担をご理解のうえ，本誌と『プロジェクトレビュー』の両方を十二分にご活用いただきますよう，お願い申し上げます。

2011 年 5 月 10 日

国立国語研究所長　影山太郎